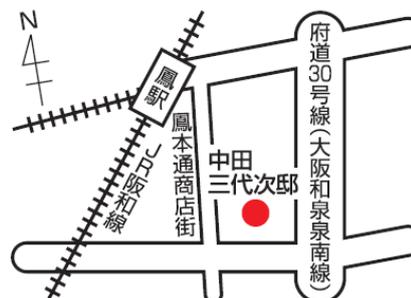


【中田三代次 邸】



所在地：西区鳳東町3丁260

所有者：中田三代次



《講評》

本物件は、歴史的建造物部門に相応しい物件で、鳳地区の現在の小栗街道（旧熊野街道）に程近いところに立地し、嘉永6（1853）年に建築された後、160年間に渡り大切に住まわれ続けている居宅である。

緩やかに変化する線形と人間的なスケールを持った道路沿いにおいて歴史的な景観を持続させている。道路から引き込まれた門構えまでの石畳の通路空間は、管理が行き届いた仕立てものの庭木と石垣が相まって歴史を感じさせる「凜」とした景観を呈している。門構えの向こうに垣間見られる庭もよく手入れされており心地よい。

一方、道路沿いに表出している忍び返しやサッシュとともに銅板が張られた蔵の壁面はやや違和感を生み出しているのが残念である。このような歴史的建造物の保全に対し、行政の何らかの支援や誘導が求められよう。（増田昇 委員）